

PICO ピコ

☆DVD「ベスト・オブ・サーフムービー」

プラス★ニューアルバム「スティール・フロム・アース」 2枚組みディスク

全国のタワーレコード、HMV 他全国の CD ストア、サーフショップで販売中

品番 UD-2040 ¥2,800 (消費税込み)



ライフスタイルをサーフィンで彩る

サーフィン映画の名作のコラボレーションDVD、
プラス PICO のニューアルバムの 2 枚組みディスク。

ヴォイス・オブ・サーフィンとしてオーストラリアで親しまれているピコ。

昨年はグリーンルームで初来日、熱狂的なファンを掴み、玄人筋からは「大人のロック」と高評価を受けた。その後、ピコはバンド“クロウフェザー”を結成。クイックシルバー、リップカール等のイベントに出演。2007年、ニューアルバムが完成した。

新作「スティール・フロム・アース」

バンド色を強めパワフルに浮遊（フロウ）するロックとアコースティック、これがサーフ大国オーストラリアの最新サーフサウンドだ。PICO と 3 ピースのバンドがパワフルで繊細なロックを醸し出す。大人のロック復活だ。

映像コラボレーション DVD「ベスト・オブ・サーフムービー」

1995年～2005年にPICOのナンバーが使用されたサーフムービーの中からPICO自身がセレクトした7作を中心とした100分以上の作品。ソニー・ミラーの「サーチン・フォー・トム・カレン」、ジャック・マッコイの名作「ナイン・ライブス」、デレク・ハインドの「ストンプ」、ティンバーの「ビッグスト・ウェンズデイ」等、名作中の名作の美味しいところが凝縮。さらに巨匠監督達が製作したミュージッククリップ、インタビュー、メッセージクリップのボーナスDVDはビギナーからマニアまで必見

1995-2005 PICO のサウンドが完全無欠なシンクロナイズする映像は圧巻！

1 “Feral Kingdom” 1995 Filmed by Sonny Miller

2 “Searching for Tom Curren” 1996 Filmed by Sonny Miller

3 “Tripping the planet” Filmed by Sonny Miller and Derek Hynd

4 “Stomp” 1996 Filmed by Derek Hynd

5 “Nine Lives” Bay of Sin Jack McCoy その他の作品からのコラボレーションです。

初回特典 オーストラリア発のニューブランド“ショート・ストロウ”の日本上陸を記念してステッカーが付きます。ピコのツアーの全面サポートをするクールなボードショーツメーカーです。

PICO は 1995 年のデビュー以降、一貫してソロで活動を継続していたが、本作はクロウフェザーというバンドの一人としてクレジットされている。そうは言っても基本的には PICO サウンドの延長上に音創りは成されている。デビュー以来、活動を共にしているギターのジェフ・ニコル。彼のギターワークは PICO サウンドに欠かせない。全 10 曲、アコースティックからエレクトリックギターまで幅広い音創りが成されているが、ドラムスのフィンが叩く“レッド・ツェッペリン”を髣髴させるパワフルな「ウォーク・アウェイ」等、今流行のサーフ系サウンドとは明らかに異なる方向性に向かう。また「フライ・ライク・イーグル」や「モーニング・タイム」は今までのサーフ系アコースティックとは全く違うアプローチでロックしている。かつてハードロックとメロコア全盛の 90 年代、ニール・ヤングのようなアコースティックギターをサーフミュージックの最前線に持ち込んだ PICO だが、今バンドとして活動する理由は蔓延しているサーフ系サウンドに対する警鐘かもしれない。

DVD「ベスト・オブ・サーフムービー」は、1995 年～2005 年に PICO のナンバーが使用されたサーフィン映画の中から PICO 自身がセレクトした 7 作を中心とした。ソニー・ミラーの「サーチン・フォー・トム・カレン」、ジャック・マッコイの名作「ナイン・ライブス」、デレク・ハインドの「ストンプ」、ティンバーの「ビッグgest・ウェンズデイ」等、名作中の名作の美味しいところが凝縮。さらに巨匠監督達が製作したミュージッククリップ、インタビュー、メッセージクリップのボーナス DVD、100 分以上の作品は PICO サウンドが完全無欠なシンクロナイズする圧巻映像集である。以下の作品から構成されている。

- 1 “Feral Kingdom” 1995 Filmed by Sonny Miller
- 2 “Searching for Tom Curren” 1996 Filmed by Sonny Miller
- 3 “Tripping the planet” Filmed by Sonny Miller and Derek Hynd
- 4 “Stomp” 1996 Filmed by Derek Hynd
- 5 “Nine Lives” Bay of Sin Jack McCoy
- 6 “The Biggest Wednesday” Tim Bonython
- 7 “Stomp” 2001 Filmed by Derek Hynd

1997 年のデビュー以来、数々のサーフィン映画で使用された PICO のサウンド+新曲を加えた PICO の集大成。別面には代表的サーフィン映画 8 作から PICO のサウンドとシンクロした映像集である。

1997 年オーストラリアの最大サーフブランドのひとつ、リップカール社の全面的サポートを経て世界的デビューを果たした。当時インディーズチャートで 1 位になったニール・ヤングの「オールドマン」のカバーを始め、ファーストアルバム「ゴーストフラワーズ」はサーフミュージックという言葉がリバイバルする前にサーファーから爆発的セールスを記録した。天才サーファー、デレク・ハインドがプロデュースして PICO 自身も元世界チャンプのトム・キャロルがプロサーファーにするために面倒を見たが「サーフィンはフリー」と競技サーフィンを拒んだ。そしてトムも PICO の音楽をサポート、だからプロサーフィンのツアーに音楽という新しいエッセンスを注ぎ込む使者としてサーフィン業界が送り込む決定を成せたのだ。当時からトムはクイックシルバーの、現在は重役、最大の競合相手であるリップカール社が送り込むアーティストに賛同するには商売ではないサーファーとしての決断があった。かくして PICO は華々しいデビューをした。2002 年ジャック・ジョンソンが「ブラシファイアー」をリリースする 5 年前にアコースティックギターをサーフィンに取り得ていた張本人である。

PICO はワールド・プロフェッショナル・サーフィン・ツアーに合わせて、オーストラリア、アイルランド、フランス、スペイン、南アフリカ、ブラジルをツアーして各地で「サーファーのためのサウンド」とか、「ヴォイス・オブ・サーフィン」と呼ばれるようになった。

2001 年、満を持してセカンドアルバム「ベイ・オブ・シン」がリリース。オーストラリア最大で唯一の全豪ネットワークを有する自国のロックを育てるトリプル J でのリクエスト 1 位、最大の TV 音楽番組でのライブ演奏、PICO の名は一般にも広く知れ渡りサーファーの間では「カリスマ」となった。2002 年「アトミック・バタフライ」、2005 年「LOOK」リリース。この間、延べ 34 のサーフ

フィルムに PICO の楽曲は使用された。

お取り扱いは、サーフショップ (株)国内通商 ビーチカルチャー
CD ストアー (株)ラッツパック・レコード

発売元ルピコ 〒105-0072 東京都 港区 芝 3-17-15 208 TEL 03-3453-8101 Fax
03-3798-0470

試聴、詳しくは www.ozartsurf.com